



## Hello! Bonjour! カナダの生活あるある EX版

皆さんこんにちは！国際交流員のメリーです。広報ほっと京たなべ平成30年11月号のコラム「Hello! Bonjour! カナダの生活あるある」で私の出身大学にある映画のロケ地について紹介しました。今回はカナダの感謝祭(Thanksgiving Day)について紹介します。農作物の収穫期の違いから、カナダでは10月の第二月曜日、アメリカでは11月の第四金曜日が祝日(National Holiday)となります。何故、日が違うのかと言うと、「カナダとアメリカの農作物の生育時期の違い」にあります。カナダは、アメリカに比べ農作物の生育期間が短く、冬の到来も早いです。2018年は10月8日でした。月曜日に設定されていることから、土日とThanksgiving Dayを合わせて3連休になります。Long Weekendとも呼ばれていれます。

### Thanksgiving Dayの由来

カナダで初めて感謝祭が開かれたのは、1578年のこと。イギリス人の探検家マーティン・フロビッシャー率いるイギリス人開拓者達が、新天地のカナダのニューファンドランドで行った、英国の伝統的な収穫祭が起源だそうです。その後、カナダ人は収穫の祝いのみならず、軍が勝利した時や病人が病気から快復した時など、良いことがあれば一緒に祝ったそうです。



### 過ごし方と伝統的な料理

Thanksgiving Dayが、カナダで正式な「祝日」に制定されたのは1870年のこと(アメリカは1863年)。現代では、以前のように宗教的な意義は薄れ、親族や家族、友人を囲んで、食事や会話を楽しむものになっています。私の家では母が台湾料理を作って、家族と一緒に食べます。七面鳥ではなく代わりにチキン料理を作ります。

伝統的な感謝祭の料理は、七面鳥にスタッフィング(詰め物)をして焼いた「ローストターキー」。ターキーには、クランベリーソースやグレービーソースをかけて食べます。その他、マッシュポテト、カボチャ、カブ、パンプキンパイも定番の料理です。

